





東急電鉄  
駅長 小島 伸五

中目黒駅長さんに聞く  
「交通網がさらに拡大  
～なかめぐるのまちが変わる  
そして、駅は？」

として今日  
急行運転開始と、横浜市営地下鉄各社との相互直通運転は、輸送サービスのひとつとして

東急電鉄  
中目黒駅  
では広く認知されています。  
東急線では、営団地下鉄（当時）日比谷線と東横線がはじめて繋がった昭和三十九年八月に、その第一歩を踏み出したのが中目黒駅でした。東横線一日の平均乗降人員約九万人のうち、現在の中目黒駅では約十七万二千人のお客様がご利用いただいている。これは、渋谷駅、横浜駅に次ぐ三番目の乗降数になります。

平成二十年三月大井町線の

として、今年度は、横浜市営地下鉄

では、この品川線は、中央環状線（全長約四七km）の南側部分を形成し、起点の品川区八潮三丁目で高速湾岸線から分岐したのち、目黒川及び環状第六号線（山手通り）の地下空間をトンネル構造で北上し、目黒区青葉台四丁目で現在建設中の中央環状新宿線（山手トンネル）及び高速三号渋谷線に接続する延長約九・四kmの路線。

では、この品川線は、中央環状線（全長約四七km）の南側部分を形成し、起点の品川区八潮三丁目で高速湾岸線から分岐したのち、目黒川及び環状第六号

八潮で行われた品川線起工式に出席した石原知事が「中央環状線の完成は二〇一六年のオリンピック実現の必要条件の一つ。他の首都圏に負けない形で整備をしていきたい」と挨拶されました。

この品川線は、中央環状線（全長約四七km）の南側部分を形成し、起点の品川区八潮三丁目で高速湾岸線から分岐したのち、目黒川及び環状第六号線（山手通り）の地下空間をトンネル構造で北上し、目黒区青葉台四丁目で現在建設中の中央環状新宿線（山手トンネル）及び高速三号渋谷線に接続する延長約九・四kmの路線。

## 中目黒駅長さんに聞く

### 「交通網がさらに拡大 ～なかめぐるのまちが変わる そして、駅は？」

として、駅は？

として、駅は？